

学びの広場

松田のPTTA活動 今回は、幼稚園PTTA、小中学校PTTAの 特色ある活動について紹介します

PTTAの目的は
子どもの健やかな成長

県教育委員会発行の「PTTA活動のためのハンドブック」では、「PTTAとは、子どもの健やかな成長を図ることを目的とした社会教育関係団体です。保護者と教職員とが対等の立場で協力し、学び合い、高め合っていく団体です。」と述べられています。

◇自主団体として
PTTAは、保護者と教職員が対等の立場で関わり、自主的な組織によって運営される自主性をもった団体です。学校とPTTAはそれぞれ独自性を発揮しながら、対等な協力関係（パートナーシップ）を築き、密接な連携を図っていくことが大切です。

◇学習団体として
PTTAの特質の一つとして大切なことは、家庭や地域の問題



町教育委員会主催「広報づくり研修会」

おめでとうございます 松田小学校PTA



平成26年度 県優良PTTA表彰受賞

平成26年11月14日、神奈川県本庁舎大会議室（昔の議場）で授賞式が行われました。県教育委員会 河野真理子 委員から、43団体に表彰状が授与され、感謝と励ましの言葉がありました。

授賞式には、松田小PTTAを代表し、利根川会長（写真中央）、足立晃美副会長（同右）、森ゆり子副会長が出席されました。

利根川会長は受賞後「今年度表彰されたが、今までのPTTA活動が評価された結果だと思ふ。更に気を引き締めて、PTTA活動に取り組んでいきたい」と話されました。

点について学んだりする、学習の場であるということ。このためPTTAは会員に対して、常に教育的素材や学習機会を提供していくことが大切です。特に、家庭教育力の向上・充実については、PTTAとして取り組む重要な課題の一つです。

親子で遊ぼう つながろう 松田幼・寄幼PTTA

「親子で遊ぼう つながろう」は、3回のPTTA家庭教育学級の中の1回を松田幼稚園PTTAと寄幼稚園PTTAが2園合同で行い、講師謝金を有効に使う、大勢の中で楽しく活動する等のねらいで実施しています。

事業名のとおり、親子全員が松田中学校の体育館をお借りし、日本遊育研究会の指導者の元で活動しました。親子で触れ合いながら行う体操、新聞紙を使った遊び、手話をしながら歌うなど楽しい時間を過ごすことができました。

幼稚園PTTAは、PTTA活動の他に、幼稚園行事のお手伝いに行く機会も多く、会員同士、様々な活動を通して仲間づくりができています。



松田幼PTA、寄幼PTTA合同「親子で遊ぼう つながろう」

小さくてもキラリ輝く 寄小中PTTA

小規模校のPTTA活動が縮小する中で、寄小中PTTAは会員の頑張りもあり、他のPTTAと遜色ない活動を実施しています。

特に教育委員会主催の広報づくり研修会では、講師の武先生から「昨年度は足柄下郡の小中学校PTTAが広報づくりを止めてしまったが、寄小中はよく頑張っている」と称賛と激励の言葉をいただきました。

また、家庭教育学級を学校の行事と連携させるなど工夫した活動もみられます。



寄小中PTTA「健康ストレッチ」

着実な活動を展開 松田小PTTA

PTTA活動については、各委員会活動を中心に着実に取り組んでいます。家庭教育学級は2年連続で『なでしこ防災ネット』に依頼し、「防災」について学習を深めています。また、PTTA広報では子どもたちの活動とともに、PTTA活動についても必ず載せています。

年3回のベルマーク集計作業では、15から20人のボランティア

が参加し、集計を行っています。学校医等と連携して、子どもの日頃の生活リズムについて考える「すくすく委員会」は、特色ある活動の一つです。



松小PTTA「ベルマーク集計」

町外でも活躍の 松田中PTTA

PTTA広報紙は号外を含め年間7回発行しています。25年度は、足柄上地区PTTA広報紙コンクールで優秀賞、県PTTA広



松中PTTA「アロマ・ハーブ講座」

報紙コンクールで奨励賞を受賞しました。発行回数努力と「企画性」「自主性」「問題提起」が高く評価されました。また、「防災マニュアル改訂」への取り組みは、他校PTTAの模範となる活動として、県教育委員会発行の「PTTA活動のためのハンドブック」に具体的な取り組み例として紹介されています。

PTTA活動の活性化を願って

前松田中学校PTTA会長 坂田 純



平成21年4月に松田中学校PTTA会長を拝命し、足かけ5年4期にわたり、務めさせていただきました。その間、平成23年度には、足柄上郡PTTA連絡協議会の会長も経験させて頂き、PTTA活動を通じて、町内外に多くの人脈もでき、私にとって、人生の賜物を得た思いです。

近年、少子化によりPTTA役員を受け手が少ないことに加え、主力となる母親が働いている場合が多く、この学校もPTTA役員の人選には苦慮しているようです。

私は「サラリーマンができるPTTA」を常に目指しました。役員を引き受けて驚いたことは、学校以外にも、町や地域の委員に多数任命され、さらには研修への参加要請が多

いことでした。どれも平日の昼間に行われるので、サラリーマンではやり難いのが難しく役員全員で協力し合うことの必要性を痛感しました。「楽しくなければPTTAではない」をモットーに「子供を同じ学校に通わせる保護者同士がうまく連携して活動できたらいいな」と考え活動しました。多くの素晴らしい仲間にも恵まれ、今でも交流させて頂いていることに感謝の気持ちで一杯です。

社会的制約があり厳しい時代ですが、「将来を担う子供たちに生きる力をつけること」がPTTA活動と考えることができ、多くの保護者の方々に積極的にPTTA活動に参加して頂きたいと思っています。